(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出顧公開番号

# 実開平4-132517

(43)公開日 平成4年(1992)12月8日

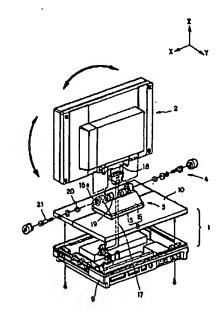
G06F 1/16 3/147 Y 9188-5B G09F 9/00 312 6447-5G 7927-5B G06F 1/00 313 F 審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁					
3/147 Y 9188-5B G 0 9 F 9/00 3 1 2 6447-5G 7927-5B G 0 6 F 1/00 3 1 3 F 密査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁 (21)出願番号 実際平3-45075 (71)出願人 000210864 中央電子株式会社 東京都八王子市元本部町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	(51) IntCL*		庁内亞理番号	FΙ	技術表示師所
G 0 9 F 9/00 3 1 2 6447-5G 7927-5B G 0 8 F 1/00 3 1 3 F  密査研求 未開求 請求項の数1(全 3 頁  (21)出題号 実題平3-45075 (71)出題人 000210864 中央電子株式会社 東京都八王子市元本部町1丁目9番9号 (72)考案者 井上 幸司 東京都八王子市元本部町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	•		0100_ED		
7927-5B G06F 1/00 313 F 密査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁 (21)出題号 実題平3-45075 (71)出題人 000210964 中央電子株式会社 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号 (72)考案者 井上 幸司 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	•	· -			
審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁 (21)出題号 実題平3-45075 (71)出題人 000210964 中央電子株式会社 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号 (72)考案者 井上 幸司 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	G09F 9/00	312			
(21) 出題分 実題平3-45075 (71) 出題人 000210864 中央電子株式会社 中央電子株式会社 東京郡八王子市元本部町1丁目9番9号 (72) 考案者 井上 幸町 東京郡八王子市元本部町1丁目9番9号 中央電子株式会社内			7927 – 5 B	G08F	1/00 313 F
中央電子株式会社 東京都八王子市元本郵町1丁目9番9号 (72)考案者 井上 幸司 東京都八王子市元本郵町1丁目9番9号 中央電子株式会社内				•	審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁
(22) 出國日 平成3年(1991)5月20日 東京都八王子市元本鄭町1丁目9番9号 (72) 考案者 井上 幸司 東京都八王子市元本鄭町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	(21)出願番号	<b>実題平3-45075</b>		(71)出願人	000210964
(72) 考					中央電子株式会社
東京都八王子市元本部町1丁目9番9号 中央電子株式会社内	(22)出題日	平成3年(1991)5	月20日		東京都八王子市元本部町1丁目9番9号
中央電子株式会社内				(72)考案者	井上 幸司
(74)代理人 弁理士 増田 竹夫					
(4)(12)				(74)代理人	弁理士 塔田 竹夫
				Ì	
				1	

### (54) 【考案の名称】 デイスプレイ回勤装置

### (57)【要約】

【目的】 使用者の好みに合せて上下・左右何れの方向にも回面の向きを変えることができるとともに、故障等の際に基台とディスプレイ本体とを別々に分割させて一方のみを持出して修理等を行うことができるディスプレイ回動装置を提供する。

【構成】 チルト機構4に設けた基合1頃の軸受部材1 9からそこに螺着されていた固定軸21を取外してディスプレイ本体2頃の固定アーム18から引抜くことにより、基台1とディスプレイ本体2とが簡単に分割できる。



#### 【実用新案登録励求の韓囲】

【簡求項1】 基台上部に対してディスプレイ本体を上 下方向及び左右方向に回動自在に支持するチルト機構及 びパン技術を偉えたディスプレイ回動装置であって、前 記パン模構が、前記基台に回動自在に取付けた円頭状の **滑動部材と、この滑動部材に対し一体に取付けられた回** 動受座とを偉えるとともに、これら一体に担付けられた **滑動部材と回動受座の中央部に基合とディスプレイ本体** との間を接続するケーブルが押通する質通孔を有し、前 配チルト機構が、前配ディスプレイ本体側下部に設けた 10 4 チルト機構 固定アームと、前配基台側の回動受座に一体に取付けた 帕受部材と、前配固定アームの嵌合孔に一方側の半分を 接合させるとともに他方側半分が軸受部材の嵌合滑に嵌 合させる角形ピンと、この角形ピンの貫通孔に挿入させ て先端部を軸受部材の嵌合海内のネジ孔に総合させたデ ィスプレイ本体側及び基台側から着脱自在の固定軸とを 備えたことを特徴とするディスプレイ回動装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】この考案に係るディスプレイ回勤装置を示す分 解斜視図である。

【図2】この寿家に係るパン機構を示す分解斜視図であ

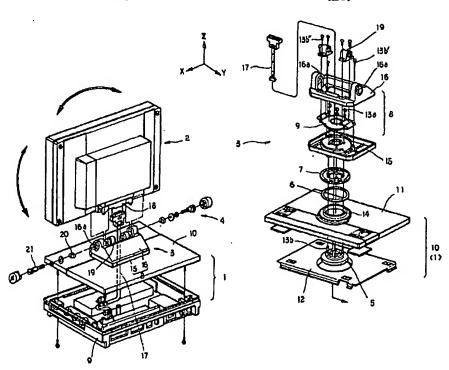
【図3】この寺案に係るチルト機構を示す分解斜視図で

【図4】図3に係るチルト機構を示す平面図である。 【符号の説明】

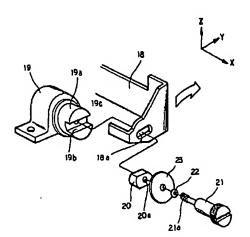
- 1 基台
- 2 ディスプレイ本体
- 3 パン機構
- - 5 滑勁部材
  - 8 回動受座
  - 17 ケーブル
  - 18 固定アーム
  - 18a 嵌合孔
  - 19 軸受部材
  - 19b 嵌合滑 20 角形ピン
  - 20 B 貫通孔
- 20 21 固定軸

(B) 1 )

[図2]







(図4)

